

# Funehiki High School News

vol.150

～がんばる船高生～  
**ATTENTION!**

## 第30回 デュアルコース 新開 優真さん

今回はデュアルコースで学んでいる新開優真さん（3年船引中出身）に話を聞きました。本校の特徴的な教育活動であるデュアル実習は、今年度で11年目を迎えます。本校と田村市、地元企業が連携して生徒を育てる教育制度で、生徒は授業の一環として、週に1回、一年間を通して市内の企業や施設で実習します。

—デュアルコースを選択した理由は？

**新開さん** 1年次にデュアルコースの先輩から実習について話を聞く機会があり、自分に向いている仕事を探すためには、様々な職種を経験してみるのがよいのではないかと興味を持ったからです。

—具体的にはどのような実習をしましたか？

**新開さん** 昨年度は田村森林組合とシチズン電子船引株式会社へ、今年度は田村市役所にお世話になりました。田村森林組合では木材の加工・梱包、シチズン電子ではクリーンルームで体のほこりを取り払った後に行う精密な作業や製品の検査、市役所では書類の整理やデータの入力、田村市での催しのPR記事作成のように、実習先ごとに特徴のある仕事をさせていただきました。

—デュアル実習で学んだことは何ですか？

**新開さん** 仕事の内容は異なりますが、どんな仕事にも共通して、人間関係を構築することが重要だと学びました。

以前は自分に製造業が向いているとは思っていませんでしたが、実習をしてみると作業に夢中になって時間が過ぎるのを忘れるほどでした。また、小さな部品一つ一つや、作業一つ一つを大切にすることが、それを使うお客様の安全や、出来上がった製品を介した会社への信頼につながることをわ



▲市役所（図書館）で実習する新開さん

かりました。そして、そのような積み重ねを大事にできる人間になりたいと思い、製造職に就きたいと考えるようになりました。

—デュアル実習を始めてから、自分が変わったと感じることはありますか？

**新開さん** 両親には、以前は大ざっぱな性格だったが、丁寧になったと言われました。自分自身では意識していませんでしたが、部屋がきれいに片付くようになったと感じるので、意識の変化が生活の変化に現れたのではないかと思います。

—これからコースを選択する後輩にアドバイスはありますか？

**新開さん** デュアル実習をやるか迷っている人には、ぜひ選択してもらいたいと思います。卒業後の進路は自分で決めるものなので、体験してみても初めて、自分の能力や適性について気が付くこともあると思います。

◆デュアル実習成果発表会のお知らせ  
日時 2月20日(木)午後1時30分 開会（開場午後1時）  
場所 市文化センター  
生徒が日頃の実習風景のプレゼンテーションを行います。入場は無料、事前の予約は不要です。皆さまのご来場をお待ちしています。

### ◆キャリアアップスタディ

本校では3年生を対象に、社会人として必要な知識・教養・技能を身に付け、共生社会に貢献できる心構えを醸成することを目的に「キャリアアップスタディ」を実施しています。



▲フライングディスク講座

今年度は、たむら支援学校、田村市社会福祉協議会と連携し、「フライングディスク」「手話」「ボッチャ」「認知症サポーター養成講座」の4つの講座を実施しました。それぞれの講座では、同じ学び舎で学習をしているたむら支援学校の生徒たちと楽しそうに交流を深める姿や、パラリンピックの正式種目「ボッチャ」を珍しそうに体験する姿などが見られました。また、「手話」「認知症サポーター養成講座」では、田村市社会福祉協議会の方々が講師として来校して下さいました。「ダイバーシティ（多様性）& インクルージョン（包括）」研修にもなる大変貴重な体験でした。



福島県立船引高等学校 Tel...0247-82-1511 Fax...0247-82-5233  
HP...<https://funehiki-h.fcs.ed.jp> mail...[funehiki-h@fcs.ed.jp](mailto:funehiki-h@fcs.ed.jp)

## アメリカのバレンタインデー



Bobby Eisel  
バビー・アインソルさん  
(アメリカ合衆国イリノイ州出身)  
田村市に来て2年目

アメリカでバレンタインデーのお祝いは、ぜいたくなものになることがあり、また多くの人が一年で最もロマンチックな日だと思っています。カップルはバレンタインデーを一緒に祝い、たいいていは男性が女性に特別なものを贈り物にしたり、デートに誘ったりして妻や恋人に自分の愛情を表現することが期待されています。学校でも生徒たちはバレンタインデーを祝う特別なカードを友人たちに送ることが認められます。

## 海を越えて 英語指導助手 ペンリレ No. 79

は勇気を振りしぼって女性を初デートに誘うきっかけにする人もいますし、女性にプロポーズをする特別な機会としてロマンチックな日にする人もいます。幼稚園児や小学生は、バレンタインデーにカードを作ったり、買ったりして友人たちにあげるように勧められます。たいいていカードには、人気のテレビ番組や映画のキャラクターなどが描かれ、そこに心温まるメッセージが添えてあります。子どもたちは、卓上に置く郵便受けを作ったり、カードや小さい菓子などを交換するパーティーをしたりすることもあります。中学校や高校では、よくダンスパーティーをします。生徒たちは、ドレスやタキシードで着飾り、友人たちと交流して生演奏を楽しんだりします。



子どもたちは、友だちに感謝や思いやりを表す時としてバレンタインデーの体験を身につけていき、カップルは互いに愛情を示す時として祝日を楽しみます。

### ひより日和

vol.05

こんには。大類日和です。自分の2019年の目標は「人の誘いを断らない」でした。振り返ってみるとどうだったか？確かに、極力人からのお誘いは応えられないようにしていたし、隙間時間を見つけて顔を出すようにしていました。ただ、これですごく受動的ですよ。今は、ネットでいろいろ調べられる時代だし、動画とか見ればいろいろな経験を体験できる時代です。でも、だからこそ自分の「価値基準」で判断することがすごく重要だと思っています。ネットがないと何もできない人間になってしまいますから。ただ、2019年の自分は「自分が空いているか否か」を判断の基準にしてしまっている。自分で考えて行動するのではなく、人から誘われたことに対して、行けるか・行けないかの回答をしていたなあと反省しました。今までずっと受動的に生きてきた自分を変えたいと田村市に来たはずなのに、気がついたらまた元の自分に戻っていたのです。

### 自分を見つめなおした年末年始

これまで「視野を広げる」「世界を広げる」ってニュアンスのことを言う人がめっちゃ嫌いでした。自分が生きている世界はそんなに広くないし、広げても収集がつかなくなると思っていました。でも「価値基準」と考えると、基準になるための知識が広ければ広いほど、深ければ深いほど、多角的な視点や多様な価値観で判断ができる。これが自分の生き方をより豊かにする方法なのだろうと思います。それがつまり、よく言われている「世界を広げる」とことだと気づきました。「本を読む」「人に会う」「旅に出る」ことは大事だと、すごく言われてきたのにもかかわらず、25年も生きてきて、やっとそんなことに気がついて自分の馬鹿さ加減に嫌気がさします。けれど、まだ間に合うはず。今年の目標は「世界を広げる」に決めました。旅に出て、いろいろな価値観に触れ、それを糧としてまた精進していきたい。そんなことを考えた年末年始でした。

地域おこし協力隊奮闘記